

運輸通信事業の 不始末

社說

社説 運輸通信事業の不始末

名むるも盡なし只今後の處置を肝用なりとして擇て之を如何に始末す可きかと云ふに前にも述べる如く運通の機關は一として全なるのなし苦情の聲は薄く、如くにして疾呼救濟を求むるの切なるは恰も火事に消防を呼ぶの情は異ならず空しく一年を待つ可きに非ず且つ國民が其費用の支出に同意したるも畢竟するに速に改良擴張の實効を奏せしめんが爲めに外ならざれ断然責任を負ふて事後承諾を決心し出來得る限り豫豫するは逆も堪ふる所に非ず用ふ可き金錢を抱きなして豫定の目的を達するの外に策まる可らず文明の世界は甚だ多忙なり急要切迫の事業を謂れなく一年も豫豫するは逆も堪ふる所に非ず用ふ可き金錢を抱きなら空しく歲月を費さんよりは寧ろ手段は變則にもせよ最初の計畫を實行する方却て國民の本意にも副ふに進む可き道なしとして最後に一言す可きは内に臺灣間電信の一條なり此事に付ては過日も一寸記され共今日に至て漸く技手の養成に着手とは如何にも奇怪なる話にして是れには自から深き仔細あるとならんと思ひしに尙ほ能く聞く所に據れば單に技手の準備を以て不可思議なり此電信の今頃落成す可きは何とも豫期したる所にして屢々新聞紙上にも記されたるは選して新式の電信取扱を練習せしむるなりと云ふいきのみか之に給す可き費用の用意もなき爲め電信はしたれども人を増す能はず餘儀なく内地の各局より遣して當局者に於ては尙更ら確に豫知したるに相違なし左れば其費用も前以て請求し技師技手なども十分用意して開通と同時に公衆の電報をも取扱ふ筈なに然るに今日まで人の用意もなく費用は次の議會を持つの外なくして左なきだに不足勝ちなる既設の各局として密接に之を内地に聯結して双方の事情を轉瞬の間に通ずるものは即ち此電信なれば其商賣上并に政治上に莫大の效能ある可きは論を待たず世人が一日千回し傍覗の外なしとは返す（も遠慮に堪へず當局者に於て若しも説あらんか我輩は切に聞かんと欲するの番り

○
長野縣下の農業
六月十日 諏訪湖畔
特派員

第六十講 神社業（第十報）

信州縫の起原

之を大別して提綱時代

卷之三

今春聞るみと百年
親出したるは即ち信州

製絲頭浙く増加し上
に至る

博するに至り當時此手

しは即ち上方に上すの

被謀叛の煽亂となり横
たたらん
しづ

地を動搖し絲憎大に氣

卷之三

卷之三

あるに至り終には粗製濫造の弊に陥りたれども手挽綫は漸く坐綫に移り文久年間に朱判、稀無双等種々の名聲は殆ど地に落ち其過半は上州商人の手に入り前橋提の名稱を附せざれば輸出する能はざるまでに沈没せり是に於てか長野縣鷹は取締規則を設けて其惡事を矯正しなれば漸次其品位を回復して前橋綫の上に出るに至り其後一盛一衰の間に器械綫起りて漸く歩を進むるを同時に提綫は漸く衰退し今日に至では横濱市場矯正其姿を見ざるに至れり

器械製絲 信州に於ける器械製絲の起源は近く明治五年にあり其以前手挽より坐綫に進み坐綫器械にも種々工夫を施らし改良を加ふるものありしも充分の効果を見るに至らざるを見て當時横濱市場に於て非常に動力を振ひし小野組は歐風に模したる蒸氣器械の製絲工場を上諏訪深山田に設立したり是れ實に明治五年にして小野組に模し大小の工場各處に勃興するに至り小野組は信州器械の嚆矢なりとす爾來小野組の力を假り或は其工場に模せざる松代の六工社、伊奈の大陽社、明十社等の優等器械亦相次で起り諏訪、伊奈、松代、須坂、上田、松本等各地に製絲工場を見ざるはなく年一年に勃興せし中には失敗を取りしもの多かりしと雖も僅か數年の間に至り信州綫の面目を一新するに至りしは小野組の勧業最も力ありしものにして小野組は信州に器械工場を創立せし時を全盛とし間もなく大失敗を來して今は横濱市場に於て其全盛の昔話しを聞くのみとなりたれども信州に於ける小野組の功績は信州器械綫の存在せる限り消滅するなどと云ふを得ざるべし

提綫の本場は却て時代後れとなる。前記の提綫時代にあつては其本場は小縣郡にして中にも上田は本場中の本場として其名最も高く他の地方の提綫も上田提のタガを犯して賣捌く程にて此時代に於ては上田附近の製絲は稍々勝る所ありしかば小康は却て進歩を妨るの因となり器械時代に至ては他の地方より後れたるのみならず今日に至ても信陽館依田社等の外見るべきものなく他の地方に凌駕ざるに至れり是を以て見れば信州器械今日の全盛は異日他の新場に後駆さるゝの圖たらざるなしと云ふを得ざるべし

信州製絲の特色 信州に何の特色もつて今日の盛況を來せしか其著論、製種に於て左までの特色を見ざると同じく製絲に於ても天然の特色あるを見ず今日に於ける信州綫の本場とも云ふべき諏訪伊奈萬他一二の地古なり器械時代に至ては他の地方より後れたるのみならずとも張らず且つ同じ信州の中にても水質一定せずトは其水流に石灰質を含める爲めか其水を以て製したる綫は純白の光澤を帶びたるは或は唯一の特色と謂ふを得べしと雖も此純白なる光澤は必ずしも織物に必要な如くなれども水質の最も良しと云ふ諏訪地方に劣らず其生産を抽出するものなきにわらず其水質の特に他間に優る所あるに非ざるを知る可し且之を外にして更に天賦の特色を見ざるのみならず四面皆山にして交通は不便極むたる諏訪、伊奈地方に最も製絲事業の發達を來せるは他に何の特徴もなく本地の製絲自から其住民

省の鑛山